

FP 核データサブ・ワーキング・グループ } 会合議事録  
崩壊熱評価サブ・ワーキング・グループ }

日 時 昭和52年7月18日—20日  
場 所 原研 東海研 研2・304号室  
出席者 吉田 (NAIG), 松本 (原研), 中嶋 (法政大)

1. FP 核データ WG 作業

主要核種のレベル・スキーム作成

- i) 計算に使ったスキーム, 新しいデータにもとづく改訂スキームおよび RCN-1, -2, -3 のスキームの比較検討。
  - ii) 単位密度公式につなげるための階段状スペクトルの作図。
  - iii) 各レベル・スキームを用いたときの非弾性散乱の計算結果比較。但し, 今回は時間の都合で計算できなかったもので, 近日中にこれを行う。
- 以上の結果を, できるだけ早く (8月末までに) 纏めて FFP の専門家会議にもって行ってもらうよう努力する。

2. 崩壊熱評価 WG 作業

前回の全体会合での議論にもとづいて, 第一段階として, 田坂氏のデータの中で測定値のないものを GROSS-M の計算結果で置きかえる。今回は, 約100核種について, ベータおよびガンマの平均エネルギーを計算した。

計算に必要なコードは吉田氏が準備し, 原研計算機でチェックしたが, 田坂氏のデータ置きかえに若干問題が残ったので, 引続き検討することにした。